

世界平和記念聖堂 立面図スケッチ

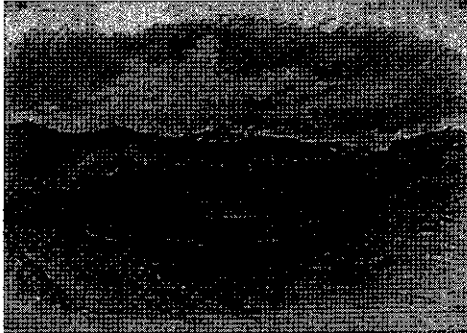
第8回村野藤吾建築設計図展

文化遺産としての村野藤吾作品

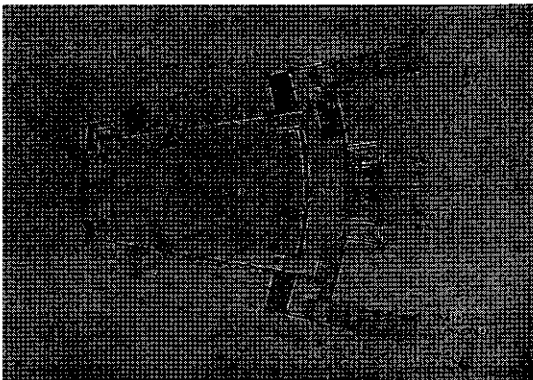
Togo Murano's Works as Heritage
2006年11月27日(月)-12月22日(金)

- [開館時間] 10:00~17:00 (但し入館は16:30まで)
- [休館日] 日曜日
- [入場] 無料
- [会場] 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
- [主催] 京都工芸繊維大学美術工芸資料館・村野藤吾の設計研究会

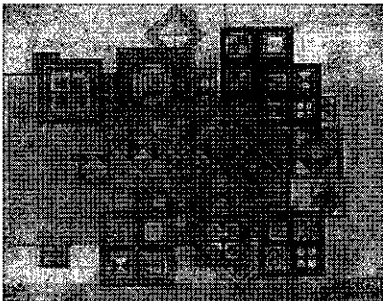
第8回村野藤吾建築設計図展 文化遺産としての村野藤吾作品



都ホテル パース



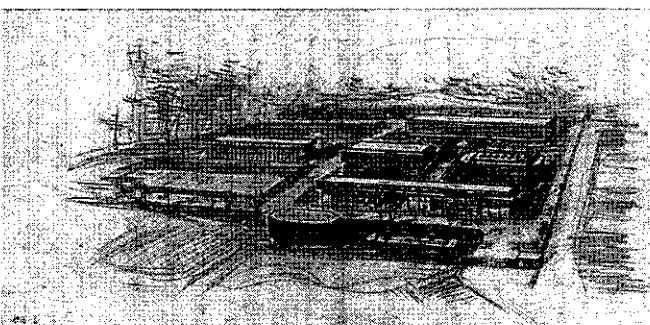
宇部市民館 平面図



日本生命日比谷ビル 天井伏詳細図



大庄村役場 大庄村塔屋階段断面図



甲南女子大学 パース

2006年、広島市の「世界平和記念聖堂」が、戦後の建築として初めて国の重要文化財に指定されました。その他にも、すでに2005年に宇部市の「渡辺翁記念会館」が国の重要文化財に指定され、2003年には尼崎市の「大庄公民館」が国の登録文化財に指定されています。また2005年には、近代建築の保存についての国際組織DOCOMOMO日本支部が選んだ、日本に現存するモダニズム建築100選の中に、5つの村野作品が入っています。このように、近年、村野藤吾の建築作品への評価が急速に高まっています。

こうした動きを受けて、今回の村野藤吾建築設計図展は、「文化遺産としての村野藤吾作品」をテーマとしました。文化財として認定された上記作品と、1970年までに竣工した重要作品の合計10作品について、京都工芸繊維大学が所蔵する図面・スケッチ類を、写真や模型などとともに展示します。図面資料から村野藤吾の歴史的価値を再考し、その保存や活用のあり方について考える機会にしたいと思います。

□ 出展作品

森五商店東京支店（現・近三ビルディング、1931年）／宇部市民館（現・宇部市渡辺翁記念会館、1937年）／大庄村役場（現・尼崎市立大庄公民館、1938年）／世界平和記念聖堂（1953年）／都ホテル（現・ウェスティン都ホテル京都）佳水園（1959年）／早稲田大学文学部校舎（1962年）／日本生命日比谷ビル（日生劇場、1963年）／甲南女子大学校舎（1964年）／千代田生命本社ビル（現・目黒区総合庁舎、1966年）／西宮トラピスチヌ修道院（1970年）

■ シンポジウム

「文化遺産としての村野藤吾作品」

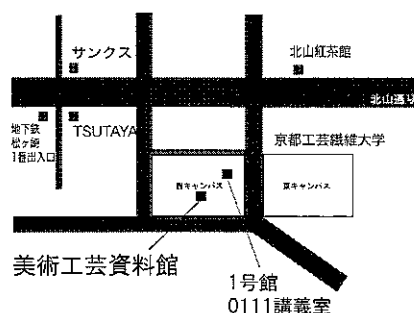
パネラー 藤森照信（建築史家・東京大学生産技術研究所教授）
堀 勇良（建築史家・文化庁文化財部主任文化財調査官）
石田潤一郎（京都工芸繊維大学大学院教授）

司会 松隈 洋（京都工芸繊維大学大学院助教授）

日時：2006年12月9日（土） 14:00～17:00
場所：京都工芸繊維大学 1号館0111講義室

[入 場] 無料
[定 員] 150名
[申 込] 不要（当日先着順）
[主 催] 京都工芸繊維大学美術工芸資料館・村野藤吾の設計研究会
[問合せ先] 京都工芸繊維大学「村野藤吾の設計研究会」 笠原一人

FAX：(075) 724-7250 E-mail：kasahara@kit.ac.jp
URL：http://www.cis.kit.ac.jp/~mrtg02/



京都工芸繊維大学美術工芸資料館
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
TEL：075-724-7924 FAX：075-724-7920
E-mail：siryokan@kit.ac.jp
URL：http://www.cis.kit.ac.jp/%7Eesiryokan/